





一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク
設立一周年記念日独シンポジウム

「シュタットベルケの未来 –
デジタル時代における新ビジネスモデル」

国際連合大学
エリザベス・ローズ国際会議場

2018年9月11日(火) 9:00-17:00

共 催: ヴッパータール研究所  Wuppertal
Institut
エコス・コンサルタント  ECOS

後 援: ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省 (BMU)

協 力: 日本環境省
一般社団法人イクレイ日本
ドイツ連邦共和国大使館 東京

参加費:
JSWNW会員 無料
イクレイ日本会員 6,000円/人
会員以外 10,000円/人 (7/31までに申込み場合、8,000円/人)

言 語: 日本語・ドイツ語同時通訳

Supported by:



Federal Ministry
for the Environment, Nature Conservation
and Nuclear Safety



based on a decision of the German Bundestag

STADTWERKE

ドイツのシュタットベルケは、自治体の公益法人のモデルとして国際的に注目されています。

シュタットベルケは、**地域経済の発展**や地域に根付いている**分散型エネルギーシステム**への転換に向かって中心的な役割を担っているからです。

一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク(JSWNW)設立1周年を記念し、この度「**日独シュタットベルケシンポジウム**」を開催いたします。

当シンポジウムでは、日本とドイツの**エキスパート**をお迎えし、地域のエネルギー供給の可能性と**将来のビジネスモデル**について発表していただくとともに、シュタットベルケ・モデルをいかに日本に取り入れていけるかについても協議いたします。主なテーマとしては、「**デジタル化**」、「**再生可能エネルギー利用**」、「**セクターカップリングの可能性**」を予定しています。

<ドイツからのエキスパート紹介>

1. **ペーター・ヘンニッケ教授**:世界で活躍するヴッパタル気候・環境・エネルギー研究所元所長。日独エネルギー転換評議会(GJETC)創設者の一人
2. **VKU**:ドイツ自治体企業連合会。会員の1450社は、シュタットベルケの構築と運営に関して実践面での幅広いノウハウを有している
3. **ヴッパタル気候・環境・エネルギー研究所**: エネルギー供給やエネルギー転換における再公社化の分野でのエキスパート
4. **シュタットベルケ・オスナブリュック**: 幅広い業務を展開する典型的なドイツ中規模都市(人口16万人)のシュタットベルケ。再生可能エネルギーの利用を市民に呼びかけている(ソーラーマッピング)。小田原市の連携パートナー
5. **ヴッパタル・シュタットベルケ**: 革新的な自治体エネルギー供給公社。ヴッパタル市(人口35万人)のサービス部門全体を請負う
6. **シュタットベルケ・ライプチヒ**: 効率的で持続可能なエネルギー創出の構造によって地域の価値創造を実現している(人口55万人)
7. **トリアネル**: 特にエネルギーマネジメントや発電所の運営、エネルギーサービス部門において、シュタットベルケ間の革新的な連携を図り成功を収めている
8. **テクレンブルガー・ランド**: 小規模自治体が連携して新たなシュタットベルケを設立した例。再生可能エネルギーに重点を置いて自治体間で連携
9. **アルハイム市**: 小規模自治体(人口5千人)における再生可能エネルギー分野での地域価値創造の例

その他、**日本**における各分野での**エキスパート**や地域エネルギー供給の**パイオニア**の方々から知見を共有していただきます。

プログラム

9:00-9:20 **挨拶**
環境省 NN
ドイツ連邦環境省、環境・エネルギー・都市における国際協力、
OECDおよび OECD各国連携課
ハラルド ナイツェル

パート 1: シュタットベルケとは？

9:20-9:40 **基調講演:**
「エネルギー転換」における分散型アクターの必要性
ヘンニッケコンサルタント 代表 ペーター ヘンニッケ

9:40-10:00 **プレゼンテーション:**
ドイツにおけるシュタットベルケの歴史と現状
自治体企業連合 (VKU) 電力市場デザイン・気象保護専門分野
リーダー アンニカ ウーレマン

10:00-10:20 **プレゼンテーション:**
日本におけるシュタットベルケの現状
立命館大学経営学部 教授/日本シュタットベルケネットワーク
代表理事 ラウパッハ・スミヤ ヨーク

10:20-10:30 **質疑応答**

10:30-10:50 **休憩**

パート 2: シュタットベルケを通じての地域活性化

10:50-11:10 **ドイツにおけるシュタットベルケを通じての地域価値創造の効果**
ヴッパータル研究所 エネルギー交通気象保護研究グループ
プロジェクトリーダー オリバー ワグナー

11:10-11:30 **小田原市における地域活性化への貢献 - 湘南電力の事例**
湘南電力 代表取締役社長 原 正樹

11:30-11:50 **自治体にとってのシュタットベルケ設立のメリット -**
シュタットベルケ テクレンブルガーランドの事例
シュタットベルケ オスナブリュック SWO ネット社
代表取締役 ハイנטツ ヴェルナー ホルシャー

11:50- 12:20 **パネルディスカッション:**
シュタットベルケを通じての地域活性化
インプット: 小規模自治体にとって可能な参入業務
アルハイム市 市長 ゲオルグ リュッドケ
司会: ラウパッハ・スミヤ ヨーク、立命館大学経営学部教授
パネリスト:

- オリバー ワグナー
- 原 正樹
- ハイנטツ ヴェルナー ホルシャー
- ルーディガー シュヴェル (ヘッセン州経済 エネルギー
交通 開発省 地域エネルギーコンセプト課 課長)
- ゲオルグ リュッドケ

12:20-13:00 **昼食休憩**

プログラム

パート 3: シュタットベルケの新事業モデル

事例プレゼンテーション:

- 13:00-13:20 **24 時間自動エネルギー取引とポートフォリオ マネジメント**
トリアネル社 企業コミュニケーション エネルギー政策部門
リーダー トルステン ビショッフ
- 13:20-13:40 **再生可能エネルギーを基本にした地域エネルギーマネジメント**
ローカルエナジー株式会社 執行役員 森 真樹
- 13:40-14:00 **地域における再生可能エネルギー利用の手段としてのブロックチェーン テクノロジー**
ヴッパーターラー シュタットベルケ
企業戦略・開発リーダー ショーレン ヒューゲル
- 14:00-14:20 **地域の再エネ資源を最大限活用する多層的な地域新電力会社向けエネルギーマネジメントシステム (EMS) について**
みやまスマートエネルギー株式会社 代表取締役 磯部 達
- 14:20-14:35 **トータルなサービス提供会社としてのシュタットベルケ**
ライプチヒ シュタットベルケ 他企業連携部門リーダー
カイ-ウヴェ・ブリヒシュミット
- 14:35- 14:50 **大阪市の下水処理所における消化ガス発電事業**
大阪市建設局下水道河川部水環境課長 鈴木 宏昌 (調整中)
- 14:50- 15:05 **廃棄物のエネルギー利用**
ハンブルグ清掃公社 イノベーション・研究部門
ブリッタ ペターズ
- 15:05- 15:45 **パネルディスカッション:**
**シュタットベルケの新事業モデル チャンスと
キーテクノロジー、成功要因**
司会: 村岡 元司、株式会社 NTT データ経営研究所
社会基盤事業本部 本部長パートナー
パネリスト:
• トルステン ビショッフ • 森 真樹
• 磯部 達 • ショーレン ヒューゲル
• 鈴木 宏昌 • ブリッタ ペターズ
• カイ-ウヴェ・ブリヒシュミット

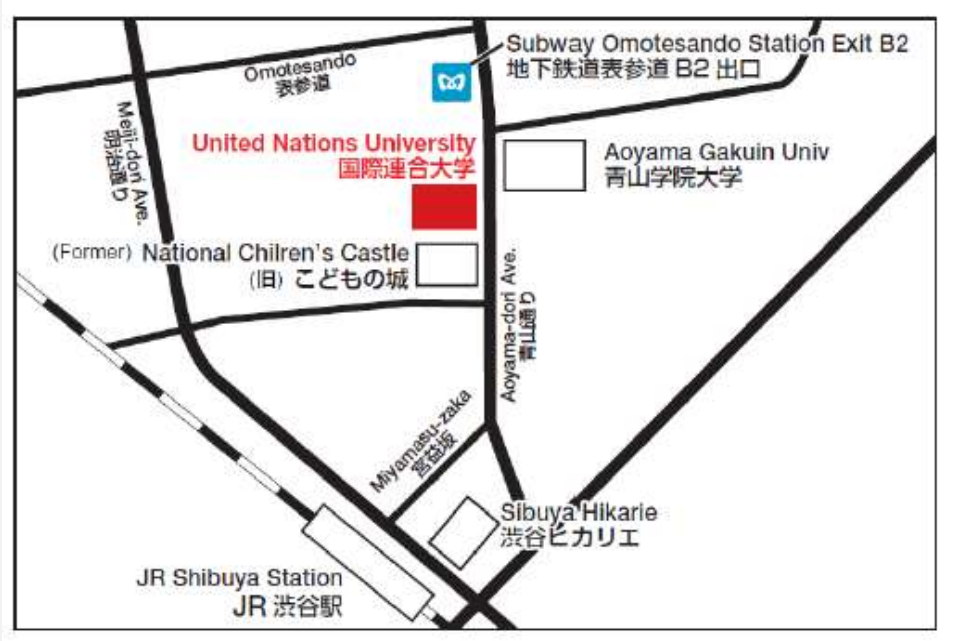
休憩

パート 4: 日本におけるシュタットベルケ展開の推進

- 16:00-16:50 **パネルディスカッション:**
日本におけるシュタットベルケ展開の推進
司会: 金森 絵里、立命館大学経営学部教授
パネリス (t.b.d.):
• NN, MOEJ • アンニカ ウーレマン
• 原田達朗 (九州大学教授) • オリパー ワーグナー
• ペーター ヘンニッケ
- 16:50-17:00 **閉会の辞**
• ドイツ連邦環境省 ハラルド ナイツェル
• 環境省 川又 孝太郎

会場

国連大学5階 エリザベス・ローズ国際会議場
〒150-8925東京都渋谷区神宮前5-53-70



申し込み

8月31日までに日本シュタットベルケネットワーク
HPよりお申込み下さい。

<https://www.jswnw.jp/event.php>



お問い合わせ
日本シュタットベルケネットワーク事務局
担当: 益田、野口 TEL: 03-3252-1717
Email: jimukyoku@jswnw.jp

